

科学者委員会 ジェンダー・エクイティ分科会（第26期・第7回）議事メモ

日時 令和7年1月26日（日）19:30～21:00

場所 ビデオ会議

出席者： 岩井 紀子、島岡 まな、嶋田 洋徳、高橋 裕子、熊谷 晋一郎、竹山 春子、樋田 京子、加藤 一実、玉田 薫、森 初果、伊藤 公雄、木村 草太、中野 裕美、名越 澄子、原田 慶恵

欠席者： 上田 修功

議題

(1) 第6次男女共同参画基本計画に向けた提言の意思の表出申出書の承認

島岡委員より第6次男女共同参画基本計画に向けた意思の表出の申出書について説明があり、特段の意見や異論はなく、申出書が承認された。

(2) 包括的反差別法制定に向けた提言の意思の表出申出書の承認

木村委員より、包括的反差別法制定に向けた提言の意思の表出の申出書について説明があり、特段の意見や異論はなく、申出書が承認された。

(3) その他

各分科会での執筆と承認の手続き

議論の結果、2月6日木曜日までに提言草案を作成し、第一部、第二部、第三部の関連部会に確認をとってから、その後、ジェンダー・エクイティ分科会で審議することになった。

文献の引用法

細かく引用するのではなく、最後に一覧で文献リストだけ掲載するという方針が確認された。

小委員会のメンバー氏名の追記

包括的反差別法のほうに、司法委員会のメンバーや、差別禁止法の小委員会のメンバーの名前も入れる必要があるとの指摘があり、対応することとなった。

内閣府男女共同参画局との意見交換の時期

内閣府の男女共同参画局に設置された基礎委員会の名簿を確認し、関係する会議体のメンバーにアプローチすることになった。2月中旬ぐらいに提言が整ってくると思うので、2月下旬ぐらいに意見交換を予定。

フェムテックの位置付け

フェムテックについて、二部と三部のどちらの文脈に置くべきかについて議論をした。

あらゆる学問分野におけるジェンダー主流化

あらゆる研究においてデフォルトとしてジェンダー視点を入れることになっている EU の科学技術政策を参照しつつ、それと同じ方向を向いている最近の学振の動きもエンカレッジするような記載を、提言の最後には書くといいという意見があり、前向きに検討することとなった。

次回開催

提言草案の整理ができた後、2月21日あたりから3月9日の範囲で開催。

以上